

まちの駅【地域交流館】整備コンセプトについて

1. 基本概念（構想）

（1）現状と課題

- ・当町においても、少子化高齢化、人口減少が進んでおりますが、その中でも賑わいを創出し、地域コミュニティの活性化を図る必要があります。
- ・中心街には、子どもから高齢者が集い、イベントや飲食を伴う会合などの施設がなく、誰もが気軽に活用できる町中交流スペースが必要となっています。

（2）設置目的

- ・子供から高齢者の交流
 - ・子育て世代の交流
 - ・町外からの利用
 - ・地域産品のPR（ふるさと納税の活用）
 - ・歴史みらいパークの総合的な活用
- ⇒ } ×多世代間の交流、気軽に利用可能
コミュニティパークとしての役割
- ※S63年観光協会を含む5団体より「中心部にコミュニティパークを」との要望により、歴史みらいパークを建設した経緯があります。

（3）まちの駅【地域交流館】の位置づけ

- ・飲食、会話などができる施設
 - ・定期的なイベント実施により交流拡大を図る施設
 - ・地域のコミュニティの活性化に資する施設
 - ・住民一人ひとりがまちづくりに参加する住民協議会（※）の拠点施設
- ※ 住民協議会とは…さまざまな課題、ニーズを五戸町の住民が主体となって解決していく地域連携型の協議会

2. 補完概念（構想）

（1）観光の拠点【観光案内／まち歩き観光／観光イベントの実施・支援】

（2）商店街との連携

- ・イベント開催による中心商店街との連携
- ・イベント参加者等の中心街への還流
- ・商店街イベントの支援

（3）子育て支援

- ・子育て世代が気軽に施設を利用し、子どもを遊ばせながら子育て等について情報交換ができる場
- ・子供を通して保護者同士の交流や学び合いが生まれたり、就学前の子供が楽しめるにぎわいの場

3. 建設費について

- ・町の負担は事業費の 3 / 1 0 の負担 で建設可能です。 ※過疎対策事業債の活用。